

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 第1松風園		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 3日		～ 令和6年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39人	(回答者数) 25人
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 15日		～ 令和6年 11月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 25人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	週5日間1日4時間継続して療育を受けることができ、個々に合った食形態での給食の時間があります。また、広い園庭があり、元気にからだを動かすことができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの強みを見つけ強みを生かした支援を取り入れていきます。支援を日々繰り返し受けることで「わかった」「できた」の経験を重ねることができるよう取り組んでいます。 ・集団参加を急がず、職員と1対1で個々のペース、理解、特性などに合わせて取り組むことを大切にしています。 ・食形態は、普通食、一口大、粒なしミキサー食、粒ありミキサー食など個々に合わせて提供しています。また、アレルギー対応食(代替食)の提供も行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の人財育成(当法人では、職員は財(たから)との考えから財の字を使っています)に力を入れ、療育の質の向上を目指します。
2	担任と専門職員が連携し、こどもの支援とご家族の支援を大切に取り組んでいます。また、看護師がいることで医療的ケアが必要なこどもも受け入れることができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの支援方針を検討する会議には専門職員も参加し意見を聞き、連携して支援に取り組むようにしています。 ・ご家族のご希望に応じて、専門職員とも面談ができるようにしています。 ・担任がこどもの支援や関わり方に悩んだときには専門職員に相談し助言を受け、支援に生かすようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職員による内部研修を実施し職員のスキルアップを目指します。
3	講師となり、就学や子育てについてのおはなしをしてくださる卒園児の保護者(先輩お母さんやお父さん)という心強い存在がいます。	家族会やグループ相談(おしゃべり相談会)の場面で保護者同士が交流する機会を設けています。また卒園児の保護者(先輩お母さんやお父さん)をゲストにお招きし、広い視野で子育てができるよう取り組んでいます。	きょうだい児支援に力を入れます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	設備の老朽化が課題となっています。	各支援室の構造化は、個々の特性に応じて過ぎやすく、わかりやすい環境を職員が工夫し整えています。設備の老朽化に伴い、環境を整えることが難しい場合があります。	引き続き、安全衛生委員会にて修繕箇所について報告し優先順位を付けて修理を進め、今後も過ぎしやすい環境を整えていきたいと思っています。
2	日々の業務に追われていて職員同士が連携を図ったり、新しいこと、改善したいことなどに取り組んだりする時間を捻出することが難しく課題となっています。	限られた時間の中で業務を行うことに課題があるため、効率よく日々の業務が実施できるよう、職員用の1日の予定と時間配分を決めています。その時間を意識して業務を行うよう心掛けていますが、令和6年度は特に報酬改定や指定管理者選定委員会、職員の途中退職などがあったことが要因で業務量が増加し、決めていた職員用の1日の予定と時間配分が現実と合っていなかったように思います。	職員用の1日の予定と時間配分が現実の業務と合うよう再検討していきたいと思っています。
3	地域が求める児童発達支援センターになることに関して、まだまだ課題があります。	試行錯誤しながら取り組んでいる日々です。	大和市に確認しながら引き続き一歩ずつ進めて参りたいと思います。地域の皆様や事業所が、悩んだとき、困ったときに、児童発達支援センターに相談してみようと思っていたいただけるような場所になることを目標に取り組んでいきたいと思っています。まずは地域生活支援公開講座をコロナ前のように充実したかたちに戻す取り組みをしようと思っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人大和しらかし会 児童発達支援センター第1松風園

公表日 2025年 2月 10日

利用児童数 39名 回収数 25

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	3	2	0	①子供が密集しないように時間で使用する部屋を分け、人数に配慮したスペース確保がされています。広すぎず狭すぎず適度な広さだと思います。 ②プレイルームが混み合うとスペースが狭く感じる。PT室での衝突が多く、子供の特性に応じて人数制限が必要に感じる。 ③もう一部屋活動の教室があればよいと思います。	①今後も、人数に配慮したスペース確保ができるよう時間で使用する部屋を分け、環境を整えていきたいと思います。 ②時間で使用する部屋を分けていますが、どうしても混み合う場面が生じたり、人数だけではなくこどもの特性にも配慮が必要な場面があります。こどもの様子を見ながら職員間で連携し、環境を整えていきたいと思います。 ③今後もクラス、プレイルーム、PT室、園庭の他、必要に応じて廊下、医務室、面談室、屋内訓練室、屋上なども有効活用し、活動を提供していきたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	2	1	1	①担任の他にフリーの先生方がクラスに入ってくれてるので細かくみてもらえます。常に目の届く範囲に職員がいて、子供達の行動を見守っていただいております。すぐに子供の変化に気づいて対応していただいているため、安心感があります。 ②年度の途中で担任が変わることもありますが、こどもに影響が出ないようにされていると思います。(できれば1年間みてもらいたいです) ③職員さん不足で、先生たちに余裕がないことが親子通園日に伝わってくる。雑務的な部分も主要の職員が行っていることが多いので足りないこともある。	①今後も引き続き担任、フリー職員、専門職員(PT、OT、心理士、看護師など)、児童発達支援管理責任者(園長)が連携し、こどもの支援に取り組んでいきます。また、職員のスキルアップも図っていきます。 ②年度の途中で担任が変わり、ご心配をおかけしております。今後もこどもたちの成長のためにフリー職員も協力して、クラス運営をしていきたいと思います。また、誰が対応してもこどもにとって安定した支援を提供できるよう、日頃からこどもの強みを見つけ、強みを生かした支援を取り入れていきたいと思います。 ③職員が感染症に罹患するなど当日、急な休みが入った場合は職員が減ることもありますが、国の基準には達しております。人数だけでなくこどもの状況などに応じて職員の不足がある部分について具体的にクラス担当に確認し、クラス運営を見直していきたいと思います。役割については、3人担任の場合、リーダー、サブリーダー、雑務があり、週替わりで取り組んでいます。どの役割についても基本的には全ての担任が経験し課題を抽出し、より良いクラス運営になるよう取り組んでいます。今後も、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いたします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2	0	0	①活動場所により部屋が違ったりするので分かりやすいと思えます。 ②おもちゃも定位置にあり、整理されています。 ③写真やカードなどでとてもわかりやすく自宅でもそうしなくては思っています。 ④設備が古い中でも空間を上手に利用している。特性の配慮もされている。	①②引き続き、場所を何をするのが明確になるよう環境を整えていきたいと思えます。また、おもちゃについても置く場所を写真で示し、今後も整理していきたいと思えます。 ③④引き続き、こどもの強みや特性、理解に応じた視覚支援の取り入れや空間の利用を心掛け、わかった、できたを大切にしていきたいと思えます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1	1	0	①先生が見守っているおかげでとても心地よい。 ②清潔とはいえない。建て替えを検討してほしいと思う。	①引き続き、こどもの安全を第一に支援してまいります。また、療育後は毎日清掃を行い、清潔な環境を心掛けてまいります。 ②設備が古く、ご不便をおかけしております。大和市の建物なので建て替えやリフォームについては、ご意見があったことを伝えさせていただきます。今後も安全面で改善した方がよい点については月1回の安全衛生委員会で取り上げ、対応していきます。
5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	0	0	0	①専門性のある支援が受けられていると思えます。入園できて本当に良かったと実感中です。 ②親も分からなかった子供の良い点を見つけ、それを伸ばしていけるよう配慮してもらっている。 ③個別で特性にあった支援を受ける時間があります。 ④研修・勉強をしっかりとされていると思う。とても助けられている。	①②ありがとうございます。引き続き保護者とともに、こどもの成長に向けて支援や配慮をしていきたいと思えます。よろしくお願いたします。 ③一対一学習(先生とベんきょう)で個別に支援をする時間を設け、スキルアップを目指しています。一対一学習についても、その他の場面についても個別支援計画に沿って支援を行っています。 ④今後も、職員のスキルアップを目指していきます。	
6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	2		・公表用の支援プログラムについては現在作成中です。	

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1	0	0	①面談を通して、きめ細かく作成していただけます。客観的に分析されているので親としても今の現状が分かり助かっています。 ②こどものニーズには合っているが、保護者の家庭状況の理解も必要に感じた。	①保護者からの事前アンケートや担任や専門職員の見立てをもとに支援計画案を作成し、面談をさせていただいています。面談での聞き取りやすさや合わせ、情報共有なども大切に作成しています。いつもアンケートの記入や面談参加などのご協力をありがとうございます。 ②日頃からお子さんのことをよく見させていただき、「できること」「できないこと」「できそうなこと」の中から「できそうなこと」に注目し、目標にするよう心掛けています。具体的な支援内容には、お子さんが「わかった」「できた」「楽しい」を感じながら目標達成に向けたステップで取り組むことができるよう記載しています。また、保護者からの事前アンケートや面談での聞き取りなども大切に作成していますが、保護者の家庭状況についての理解が不十分な点があったようです。面談は何度も行うことができますので、支援計画の取り組みについてこどもや保護者のニーズが反映されていないなどの場合は、児童発達支援管理責任者にお申し出いただけますよう、家族会などで周知していきたいと思えます。また、更に日頃から、保護者と話しやすい環境を作っていきたいと思えます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	0	0	0	①されていると思う。支援計画のおかげで子供の状態や目標がたやすいと思っ てます。園・家庭どちらとも必要な支援を設定できるよう、面談もあり安心します。	①今後も保護者の願いやこどもの現状を丁寧に聞き取らせていただき支援計画を作成していきます。ガイドラインについては、保護者が昼食をとる研修室に掲示していますのでご自由にご覧ください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0	①計画に沿った活動を支援していただけます。親が思っている以上の支援をやっ ていただいています。 ②基本的に計画に沿っている。子供の状 態によっては沿えない場合も対応してく れる。	①ありがとうございます。こどもの発達に合わせて支援計画を作成し、面談の際に保護者と優先順位を決めて支援計画に沿って支援をしています。今後もこどもの将来を見据えた支援計画を保護者とともに作成し、実践していきたいと思えます。保護者には今後もアンケートのご記入や面談などのご協力をよろしくお願いいたします。 ②こどもの状況によって支援計画に沿えない日は、無理矢理行うことはせず、取り組みがない原因を探ります。天候により取り組みが難しくなるなど予測できる状況については保護者と、情報を共有します。また、取り組む順番を変えたと行えることもあるため、さまざまな支援方法を試すこともあります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	2	0	1	①毎月事前にスケジュール共有もあり、固定化されないよう工夫されています。 ②発達状況に応じて、柔軟に対応してく れている。 ③松風園すごいと感謝しています。	①②③活動は固定化しないよう工夫して いますが、新しい活動に挑戦する日もあ れば、あえて同じ活動を繰り返す行い、 定着を目指している日もあります。経験 を重ねることが大切なお子さんたちに とってどちらにもねらいがあり、どち らも 必要な活動となります。今後もねら いを持って、さまざまな活動を提供して いきたいと思えます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18	6	1	0	①コロナ禍が落ち着き交流などが最近 あると思えます。 ②地域の子どもの交流が希望者には あり、保育園と連携していただけです。 ③毎年同じ園との交流がある。地域には たくさん園があるので協力を求めてほ しい。交流の機会を増やせるとよいと思 う。	①②令和2年度からコロナ禍のため中止 となっていました。令和5年度後期よ り、近隣保育園との交流を再開するこ とができました。近隣保育園には大変感謝 しています。インフルエンザで中止にな ることもあり、お互いの園の感染症の確 認は引き続き行っていく必要性がまだま だありそうです。 ③現在は、以前からご理解、ご協力いた だいている2園との交流を大切に行っ ています。交流に行く際は、園庭があるこ と、保育室が1階にあること、園バスを 駐車できる場所が近くにあることなど、 数々の条件があるため、引き続き現在の 2園にご協力をお願いし、実施してい きたいと思っております。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0	①入園時、変更時、時間をかけて非常に 丁寧に説明されている。 ②毎月の家族会でも園長先生から説明 があり質問もしやすくありがたいです。	①②契約の際に説明していますが、より 明確にお伝えできるよう、家族会にて都 度利用者負担になるものについては説明 していくよう心掛けています。	
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	0	①個人面談でゆっくりゆっくり非常に 丁寧に計画を確認しながら説明があり ます。	①引き続き、ゆっくり、ゆっくり、丁寧 に心を掛け、行っていきます。よろしく お願いいたします。	

14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	25	0	0	0	<p>①自閉症療育講座など勉強会の機会が分かりやすいです。</p> <p>②毎月1回保護者が集まる機会があります。</p> <p>③常に先生とお話するタイミングがあります。</p>	<p>①②通園のしおりに家族支援プログラムについて記載し、実施しています。こどもへの発達支援と同じように保護者への支援も大切にしており、保護者の困り感や悩みからくる子育てへの負担感の軽減ができるよう支援を行っています。</p> <p>③新入園児は週に1回、2年目以上は月に2回親子通園日を設けています。その際や、自主登降園の際に職員と話をするタイミングがあり、情報共有をする機会があります。</p>
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	1	0	0	<p>①先生方はこどもの様子をよく見てくださりくわしく伝えてくださいます。</p> <p>②親子通園日や個人面談、連絡帳、電話など様々な方法で伝え合っています。伝えやすいと思っています。</p> <p>③こちらから報告させていただいて聞かれることはあまりない。</p>	<p>①②今後も親子通園日や面談などでご家族とお会いしたときやそれ以外にも連絡帳や電話もご活用してこどもの共通理解、保護者の思いの理解に努めさせていただきたいと思います。</p> <p>③ご報告をいただき、ありがとうございます。こちらからもご質問させていただくことが、これからあると思いますので、そのときはよろしく願いいたします。</p>
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2	0	0	<p>①行われています。常に気にかけていただいています。</p> <p>②定期的に面談や親子通園があり、助言をいただけます。</p> <p>③支援計画以外での面談は少ない。コロナ以降はTEL等も減り、不安に感じることもあった。</p>	<p>①②今後も面談や相談を受け入れられる体制を整えていきますので、引き続きご相談いただきたいと思います。相談内容により担任の他、看護師や専門職員、児童発達支援管理責任者(園長)などが対応させていただきます。また、引き続き、親子通園日も活用し関わり方などを伝えさせていただきますと思います。</p> <p>③定期的な親子通園日での情報共有や支援が主となっています。連絡帳にて育児に関する不安を担任にお伝えいただけますと、すぐに電話ができますので、ご活用ください。</p>
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	3	0	0	<p>①親の気持ちにとても寄り添っていただいています。心の支えになってます。</p> <p>②親身になって聞いていただき、安心します。また、親身になって対応していただけるので心強いです。</p> <p>③先生方は皆、親の苦勞を理解し、話を聞いてくれます。</p> <p>④担任の先生によって違いはある。今年度は、母子主体の支援をしていただけました。</p> <p>⑤車の鍵をお渡しする際、何回も呼ばないと気づいてくれない事がある。</p>	<p>①②③ありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。</p> <p>④職員が同じ対応ができるように、対応について確認していきたいと思っています。</p> <p>⑤事務所の職員は、同時に電話対応など複数の業務を行っているため、気が付きにくいことがあるかもしれませんが、スムーズにやりとりできるように検討していきます。</p>
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	2	0	0	<p>①おしゃべり相談会などを通じて、保護者同士が話せる機会があります。</p> <p>②我が家は1人っ子ですが、イベントなどできょうだいさんをみかけるので家族で松風園に支えられている感覚があります。</p> <p>③きょうだい児やきょうだい児をもつ親の交流の場がほしい。</p> <p>④父母の会、保護者同士の交流に時代錯誤を感じた。交流があるほどSNS等のトラブルも多く、ストレスが増える。また、父親の会(のみ会)などの交流は母親側が大変などの声も聞かされた。</p>	<p>①コロナ禍から実施しているおしゃべり相談会やコロナ以前から行っている卒園児の保護者(先輩お母さんやお父さん)をゲストにお招きした会などを実施し広い視野で子育てができるよう取り組んでいます。今後も保護者同士の連携が図れる機会を提供していきたいと思っています。</p> <p>②きょうだい児が参加できる行事には、あそぼう会、映画鑑賞会(大和中心ロータリークラブ様主催)、家族参観週間、松風園まつり、卒園式などがあります。</p> <p>③きょうだい児が参加できる行事にてきょうだい児同士が交流をするきっかけになることもありますが、明確なきょうだい児同士の交流をする機会については、まだ設けることができていない、今後の課題になっています。また、きょうだい児をもつ親の交流の場がほしいという意見については、職員間周知し今後の取り組みの参考にさせていただきます。ご意見ありがとうございます。</p> <p>④SNSの取り扱いについては、注意喚起をさせていただきました。父母の会については、その存在に助けられたという声も多くあります。父親の会は勉強会後に懇親会がある形で行っています。懇親会があることでより父親同士のコミュニケーションを図ることができていると伺っています。お母様にご理解いただき、お父様にご参加いただきありがとうございます。</p>
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	0	0	1	<p>①対応されていると思います。常に相談しやすく、直接でも連絡帳を通じてでも迅速に対応していただけます。</p> <p>②経験の長い職員が多く、情報多く助けられた。心理士、PT、OTの専門の方の話もより多く聞きたかった。</p>	<p>①②今後も相談を受け入れられる体制を整えていきますので、引き続きご相談いただきたいと思います。</p>

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	2	0	0	①親子通園があり、子どもがどう過ごしているか確認できます。 ②連絡帳などはあるが、なかなか書く時間を取れないのでTELが一番楽だった。 ③先生達の気遣いは本当にすごいです。	①②③保護者については、親子通園日、連絡帳、電話、面談などを通して意思の疎通を図り、おたよりや月に1回の家族会を通して情報伝達に努めています。お子さんについては、それぞれの強みを生かし、視覚的に伝えるなど配慮しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	3	0	0	①ホームページの活用やお手紙をいただきます。 ②情報が遅くて分かりにくいことがあった。れんらくアプリ等を取り入れたほうがよい。 ③活動の様子がわかるお便りを出してほしい。活動名だけでは内容がわからないものがあるので。	①ホームページには、クラスの様子や、行事の写真などを『成長のあしあと』として掲載しています。また『会報しらかし』『園だより』『自己評価表の結果』『第三者評価の結果』も掲載していますのでぜひご覧ください。 ②情報はなるべく速やかに発信できるよう努めます。連絡についてはジャクエツメールを利用しています、連絡アプリについては今のところ導入の予定はありません。 ③活動の様子や内容がわかるお便りを出すことについては今のところ予定はありません。是非、親子通園日に、担任に確認をしてみてください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	1	0	①留意されている。写真や名前などきめ細かく配慮してくれます。 ②今年度に関しては概ね守られている。個人情報の取扱いに力を入れてほしい。	①②個人情報の取り扱いについては契約時や通園のしおりの説明時にお伝えしています。また、ホームページに写真を掲載するときは、同意書を取り、個人が特定できないように工夫しています。今後とも十分配慮し、取り組んでいきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	3	0	1	①しおりに記載もあり、入園時に説明があります。家族会でも説明があり、避難訓練など分かりやすく、実施もされていると思います。 ②訓練は実施されているが、保護者を含めた引き取り訓練はない。くわい説明もされていない。訓練方法、災害時の動き、福祉避難所や311など災害時、障がい児の困ったことなど自身で調べて、用意している。もっと発信すべきだと思う。 ③通園バスでの事故や急病が発生した場合の対応を知りたい。	①マニュアルは一部、通園のしおりに記載し、周知・説明しています。 ②③については、一部家族会にて説明していますが、まだまだ不足部分がありますので今後の課題にしていきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	2	0	1	①定期的にあります。 ②引き渡し訓練を実施した方がよい。	①支援中に放送を流し、定期的な避難訓練を実施しています。また親子通園の保護者には、消火訓練にも参加をお願いしご協力いただいています。 ②引き渡し訓練については今後、今年度中に実施予定です。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1	1	1	・安全面は確保されています。不安な点があれば聞くことで教えていただけます。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	0	1	0	①連絡帳にごまかく記入されているので大助かりです。 ②ジャクエツメールを使用し、必要時直接連絡もいただけます。 ③昨年は速やかな連絡もなく、怪我の際はよくあることのように言われた。今年度は小さな報告もよくされている。	①②③今後も、速やかに対応させていただきます。
満足	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0	①入園できたおかげでのびのびとすごしています。 ②安心感をもって通所しています。	①②今後も、子どもの特性を理解し、必要な支援を取り入れ、安心感を持って通所できるよう努めていきたいと思ます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	2	0	0	①土・日など休みの日でも「しょうふうえんいく」と言ってます。嬉しそうです。 ②子どもの興味や関心に合わせて活動が設定されているので楽しみにしています。 ③色々な活動があり、家では中々できない事をやらせてもらえるので楽しく通えてると思います。 ④先生たちに会えるのを楽しみに通所しています。	①②③これからも、子ども一人ひとりの発達のペースを大切に、子どもたちに楽しく通園していただけるよう支援内容や環境を整えていきたいと思ます。

度	29	事業所の支援に満足していますか。	25	0	0	0	<p>①大満足です。高校まであればいいのにな…と思っています。</p> <p>②楽しく通っています。</p> <p>③満足しています。松風園のおかげでできる事も沢山増え、どのようにやったらいいかなども勉強になりとても助かっています。</p> <p>④満足どころか「ここまでしてもらっていいのか」ってくらい配慮していただいています。ありがとうございます。</p> <p>⑤とても満足しています。子どもも楽しく前向きに成長でき、大変感謝しております。</p>	<p>①②③④⑤子どもの健やかな成長を支えるためには保護者との協働は不可欠だと考えています。親子通園をとおして、子どもの行動の背景をともに考え、こどもに合った支援を実施していく場として、貴重な時間を保護者といっしょに過ごさせていただいています。保護者には、こどもが成長や発達をしていく姿に、子育ての手応えを感じていただけるように、またこどもには「わかった」「できた」「楽しい」を感じていただけるように、今後も職員一同、保護者とともに支援に取り組んでいきたいと思っています。</p>
---	----	------------------	----	---	---	---	---	--

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	社会福祉法人大和しらかし会 児童発達支援センター第1松風園				公表日	2025年 2月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20	5	<ul style="list-style-type: none"> ・パーティションを使用して、構造化した環境づくりに努め、活動への取り組みやすさや、お子さんに応じた過ごしやすいスペースを確保しています。 ・クラスの人数を半分ずつくらいにして、教室以外の共有スペース（ブレイルーム、PT室など）で過ごせるようにしています。共有スペースは大人数にならない様、2クラス以内で利用することをルールとし適切なスペースを保てるようルールを決めています。 ・親子通園日で来園される保護者の人数によっては適切なスペースの確保が難しくなることがあるため、親子通園日が重ならないよう配慮しています。 ・思い切り体を動かすことのできる広い園庭があります。天気の良い日は園庭であそぶ時間を確保するよう心掛けています。 ・多様な活動が実施できるよう、屋内訓練室やろうかななどを活用しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な療育環境が維持できるよう、現在の工夫を 今後も継続していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17	8	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの状況（こどもの出席人数や支援内容、活動など）に応じて担任の他にフリーの職員を配置できるよう人員体制を整えています。 ・ブレイルームやPT室などの自由あそびの場面では職員1人につきこども3人までの把握を基本としていますが、こどもの状況により、把握するこどもの人数を減らしたり、職員を増員したりするなど柔軟に対応できるようにしています。 ・毎朝、クラス毎にこどもと職員の動きについてシュミレーションしています。 ・専門職を配置することで、より専門的な支援を実施することができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の数だけでなく、職員同士の連携についても必要に応じて検討する機会を設け見直していきよりよい療育提供に繋げていきたいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	21	3 未記入 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の老朽化は見られるが、各支援室の構造化は職員が工夫しながら行っています。 ・動線がスムーズで、かつ、子どもの目の高さにのみ情報がいくように構造化しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫しながら生活はしているが、設備の老朽化などで設定が難しいことがあります。引き続き、安全衛生委員会にて修繕箇所について報告し優先順位を付けて修理を進め、今後も過ごしやすい環境を整えていきたいと思います。 ・段差があるクラスがあり、園全体を見てもバリアフリー化については課題があります。今後も工夫できるところについては、段差をなくすよう心掛けていきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	15	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスで部屋の作り方をこどもたちにあわせて行い、心地よく過ごせる環境を心掛けています。 ・療育中でも、都度清潔さを保つために雑巾や吸水シートなどを手の届くところに配置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の老朽化に伴い、環境を整えることが難しい場面もありますが、引き続き設備上の課題については安全衛生委員会にて共有し対応していきたいと思います。 ・汚れているところや破損しているものの対応が後回しになってしまうことがあります。心地よく過ごせる環境づくりのために素早く対応できるよう、工夫や改善に努めていきたいと思います。

	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	19	6	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体でお子さんの状況を共有し合い、協力して部屋や場所を使用しています。 ・こどもの特性に応じて、1対1で落ち着いて過ごすことができるよう周囲と連携をとりスペースを設けることができています。 ・職員と1対1で個別に課題に取り組むときには部屋の人数の調整をし、静かな環境で集中して取り組めるよう配慮しています。 ・個別の部屋を使用することは難しいですが、パーティションで区切ることで個別の空間を作るようにしています。 ・特性や状況により、1人になる必要がある場合、別行動をし静かな環境を提供できるよう配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も限られたスペースではありますが、職員同士で声を掛け合い、こどもにとって必要なスペースを確保していきたいと思います。引き続きクールダウンなどで個別の部屋が必要な場合に医務室などを使用することができるよう整えていきたいと思います。
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	12 未記入 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの行事や日頃のクラス活動に対して、広く職員が参画しています。参画できなかった職員にも内容が伝わるよう、記録や報告書などを回覧し共有しています。 ・行事の後は職員にも保護者にも用紙を配布し、書かれた反省や感想から改善点を見出し、次の計画へと生かしています。 ・テーマを決めてブレインストーミングを行う機会を設けています。 ・安全衛生委員会を月1回開催しています。修繕箇所などについては職員会議などで職員に確認しています。 ・こどもの支援については年3回支援方針検討会議を実施し、計画を見直しています。 ・業務改善内容に優先順位をつけ職員で話し合っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな業務改善に向けての取り組みを進めていくために、職員の参画意識の向上に取り組みます。 ・現状では、業務量が多く、業務改善に時間を費やすことが難しく、職員個人の思いはあるが、連携が取れない、計画はあるが達成まで結びつかない、目標設定はできているが振り返りができていないなどがあげられ、全体の業務内容を見直し、時間の確保をしていくことが課題となっています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	0 未記入 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回保護者等向け評価表を実施する他、第三者評価を3年に1回実施し、保護者のご意見を聞いています。いただいたご意見は全職員で共有し業務改善に努めています。また、保護者等からの事業所評価の集計結果や第三者評価の結果はホームページで公表しています。 ・親の会より年1回感想や要望を集約していただいています。要望については書面で回答しています。対応できない案件については、ご理解が得られるよう丁寧な説明を心掛けています。また月1回家族会を実施し、直接ご家族の意見を聞くことができる場を設けています。 	
業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	10	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に職員の意見を聞く機会を設けています。 ・大きな業務改善に関しては年度単位で行っています。 ・帰りの打ち合わせ後、クラスで保護者に伝えたいことなどを担任同士で話す機会を設け把握に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換をする場はあるが、日々の業務に追われていて、改善までに時間を要することが課題です。日々の業務の見直しを行っていくことがまずは今後の目標です。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	23	1 未記入 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を平成23年度より3年に1回実施しています。結果については、ホームページで公表しています。 	

10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナ禍に参加を控えていた外部研修に積極的に参加できるよう企画しました。知識を得ることの他、他事業所の職員や取り組みに触れることが視野の広がりや自身を見直すことに繋がると考えたからです。研修後は研修報告書を記入し報告会にて発表し、職員への周知を図っています。 ・職員全体が同じ学びを实践できるよう 内部研修を実施しています。 ・外部研修の情報を職員に回覧し、自ら 希望し研修に参加できる機会を設けています。 ・自主研修の費用を負担する制度があります。(上限あり) ・職員のスキルアップのために階層別研修に参加する機会を設けています。 ・主催する自閉症療育講座や 地域生活支援公開講座へ参加する機会を提供しています。 ・株式会社Lean on MeのSpecial Learningを取り入れ、いつでも研修が受けられるようにしています。また、人財育成チームによる新人研修をSpecial Learningを用いて実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修に参加の際、その分の職員の確保が課題となります。引き続きフリーの職員を配置し安心して研修に参加できるよう人員配置を整え対応していきたいと思います。 ・職員のスキルアップのために株式会社Lean on MeのSpecial Learningを取り入れましたが、十分に活用できていないことが課題となっています。研修計画を経立てて活用し内部研修を充実させていくことが今後の目標です。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	20	4 未記入 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムは、『ひとりのできることを増やす』『将来の自立に向けて』をテーマに組み立てています。こどもの強みを生かして「わかった」「できた」と達成感を得ることができるように取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公表用のものは現在作成中です。
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの日々の様子を観察し、発達検査の結果も参考にしています。 ・親子通園日や支援計画をもとにしたアンケートをご家族に記入していただくことで、ニーズや課題を保護者と共有した上で作成しています。 	
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へのアンケートやクラス会議、支援方針検討会議をもとに支援計画を作成しています。 ・支援方針検討会議には、児童発達支援管理責任者、担任、PT、OT、看護師が参加しています。 	
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を定期的に確認し、具体的な支援方法を共有しています。 	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職による発達検査を定期的実施しています。 ・日々の行動観察の記録をPCで記入することができています。 ・専門職との振り返りを実施し確認をしています。 	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22	1 未記入 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの支援に必要な項目を全て支援計画に落とし込み、具体的な支援内容を設定しています。 	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	23	1	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスで話し合いながら立案しています。 ・活動を定める会議を月に1回月案会議として実施しています。 ・PT、OTがクラスに入るときには担任と内容を考えています。 	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・月案会議を月に1回必ず実施し、他クラスとも話し合いながら固定化しないようにしています。 ・他機関の情報交換会に積極的に参加し、情報収集をしています。 ・研修などでの学びを実践しています。 ・日々、バランスが取れるよう、身体的なもの、作業的なものを取り入れて活動プログラムを決めています。 ・成長した面を生かせるように活動が計画されています。 ・専門職とも相談しながら決めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あえて活動プログラムを固定化し、同じ活動を繰り返し行い、定着を目指すものもあります。経験することが大切なお子さんたちにとって『新しく取り組む活動』『繰り返し取り組む活動』どちらにもねらいを持って取り組んでいます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの発達状況に応じた課題や具体的な取り組みを個別活動と集団活動とおして行えるように作成しています。 ・週2回1対1学習で個別に取り組むことや、設定活動(集団活動)で取り組むことをそれぞれ計画し、支援しています。 ・お子さんの様子に合わせて個別や2~4名程度の集団で活動を行っています。 ・個別支援を基本としているため、集団参加は急がず個々のペースで取り組めるよう工夫しています。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	21	4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、打ち合わせを実施し、全職員で必要事項の確認を行っています。 ・バス添乗や出勤時間の関係で打ち合わせに出られない職員には同じクラスの職員が伝えたり、打ち合わせノートを確認したりできるようにしています。 ・フリーの職員は打ち合わせノートの他に伝達ボードで必要事項(1日の動き、活動、連絡事項など)を伝達しています。 ・朝の打ち合わせを日々実施し、全職員で必要事項の確認を行っています。 ・クラス運営については、主にリーダー、サブ、雑の3つの役割分担をし、支援の確認を実施しています。 ・当日の朝、担任間でその日の活動内容や動きなどを打ち合わせしています。 ・朝、バス添乗で支援前に打ち合わせができないときにはホワイトボードに1日の流れや役割を記入し、共有しています。 ・専門職が関わるお子さんについて打ち合わせをして、支援の確認をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限りある時間の中で業務を行うことに課題があるため、効率よく日々の業務が実施できるよう、職員用の1日の予定と時間配分を決めています。その時間を意識して業務を行うよう心掛けています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	21	3 未記入 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で意識し合い、支援の振り返りや気付きを伝え合っています。 ・バスの添乗があり、担任全員揃うことは難しいですが話し合った内容を伝達しています。 ・記録をつけながらその日の振り返りを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限りある時間の中で業務を行うことに課題があるため、効率よく日々の業務が実施できるよう、職員用の1日の予定と時間配分を決めています。その時間を意識して業務を行うよう心掛けています。 ・バス添乗、会議研修等が日々支援後にあるため、担任が全員そろって振り返りの時間を設けることは難しくなっており課題になっています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間で効率よく日々の業務が実施できるよう、記録時間を設定し実施しています。 ・記録内容は支援計画の実施状況を記号で記入し、特記は事実を端的に記入するよう工夫しています。 ・法人内で共通の記録プログラムを用いて、日々支援の検証、改善に努めています。 ・毎日記録をし、個々の様子に合わせて検証し、こどもが落ち着いて過ごせる時間を作るよう改善しています。 ・時間を有効に使うことができるよう、記録を入力するときにクラス内で振り返りを行うよう心掛けています。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日々モニタリングの視点で一人ひとりに合った適切な支援を心掛けています。 ・定期的に(年3回)支援方針検討会議を実施しています。 	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	24	0 未記入 (1)	・児童発達支援管理責任者を中心に、担任、専門職が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	23	0 未記入 (2)	・児童発達支援管理責任者や担任が窓口となり、行政、教育委員会、学校、保育園、幼稚園などと連携をしています。 ・医療については、主に看護師や理学療法士が窓口となり連携をしています。 ・相談支援事業所とも連携をしています。 ・必要に応じてケアカンファレンスを行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	1 未記入 (1)	・インクルージョン推進を意識し、地域の保育園2園にご協力いただき、定期的に交流保育を行っています。こちらからあそびに行かせていただいたり、園庭にあそびに来てくださったりしています。 ・併行利用児については、必要に応じて所属している保育所等の職員が来園したり、こちらから訪問したりして、生活の様子を確認し、課題解決に向けた話し合いをしています。また、支援内容等の情報共有を行い、相互理解を図っています。 ・コロナ禍後もインフルエンザなどの感染症蔓延により、お互いの園の訪問が難しい場合があります。その場合は電話でのやりとりとなりますが、視覚的に伝えた方がよいことは写真に撮るなど見える形で伝えるよう工夫しています。	・交流保育については、今後も2園にご協力いただき継続していきたいと思います。 ・併行利用児については、併行利用先やご家族の依頼により訪問を実施することが多いため、今後は積極的な情報共有を図り、困ったときに気軽に相談し合える関係性の構築を図ってきたいと思います。そのために、マニュアル化していくことが必要だと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25	0	・入学前は引き継ぎ書による情報提供を、卒園児全員の就学先（地域の小学校・特別支援学校小学部）に実施しています。引き継ぎ書は文書の他、視覚的に伝えた方がよいことは写真に撮り資料としています。 また小学校からの依頼により、事前の行動観察を積極的に受け入れ情報共有に努めています。 ・入学後は継続した支援が図れるよう、教育委員会と連携し、地域の小学校へのフォローアップ訪問(移行支援として行動観察とカンファレンス)を全員に行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	24	1	・必要に応じて、各市町村の担当者と連携しています。 ・心身障害児保育研究会、公立障害児通園施設・通園事業等連絡協議会、児童発達支援事業所連絡会に参加しています。 ・他事業所に見学に行ったり、こちらへの見学を積極的に受け入れたりしています。 ・自閉症療育講座や地域生活支援公開講座を開催したり、他事業所が主催する研修に参加したりしています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	24	1	・職員の経験年数や担当しているこどもの障がいや特性に応じてスキルアップのための外部研修に積極的に参加をしています。 ・現場経験や知識豊富な障がい福祉の専門家たちと連携し共同開発したプログラムを豊富に配信している株式会社Lean on MeのSpecial Learningを取り入れ、いつでも研修が受けられるようにしています。 ・事業所内に専門職がいるため助言を受けやすい環境にあります。	・株式会社Lean on MeのSpecial Learningを取り入れていますが、うまく活用できていないことが課題となっています。職員の質の向上を図るため、活用できるようにしていきたいと思います。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	25	0	・児童部会に属し、地域の課題について検討しています。 ・令和3年度より児童発達支援事業所連絡会に参加しています。 ・大和市特別支援教育巡回相談チームに参加しています。 ・令和5年度より大和市発達支援連携連絡会をセンター業務として第1松風園主催で開催し、関係機関との連携に努めています。	
		(31は、事業所のみ回答)				・当事業所が、児童発達支援センターとなり

31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				<p>ます。地域の事業所等との連携については、児童部会、児童発達支援事業所連絡会、大和市特別支援教育巡回相談チームなどに参加し行っています。また、大和市発達支援連携連絡会をセンター業務として第1松風園で主催し、関係機関との連携に努め地域の課題などの把握に努めています。</p> <p>・地域の事業所等から依頼があった場合は、第1松風園の見学を受け入れ、必要に応じて課題についていっしょに考えさせていただいています。</p> <p>・地域の事業所等が困ったときに、相談したい、連携を取りたいと思っていただける児童発達支援センターになることが目標です。具体的な取り組みについて検討し、地域に情報提供していきたいと思います。</p>
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	24	0 未記入 (1)	<p>・保育園や幼稚園と併行通園をしているお子さんは日頃から他のこどもと活動する機会があります。</p> <p>・近隣保育園2園のご協力により保育園の園児に来ていただく機会と、保育園に行き交流する機会を年間で設けています。</p> <p>・職員についてはご希望に応じて積極的に見学を受け入れる体制を整えています。</p>	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	24	0 未記入 (1)	<p>・新入園児のご家族は週1日、2年目以降のご家族は月2回、親子通園日を設け、一緒に参加していただいています。その中でお子さんへの理解を深め、課題解決に向けた具体的な取り組みを実践していただく場としています。また家庭での様子や好きなことを聞き、共通理解に努めています。</p> <p>・親子通園時以外では、連絡帳や必要に応じて電話や面談で様子を伝え合い 共通理解に努めています。</p>	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	23	1 未記入 (1)	<p>・通園のしおりに家族支援プログラムについて記載し明確にしています。</p> <p>・親子通園日に、職員がこどもに実際に関わっている様子を観察していただいたり、支援などについて確認しあったりしています。</p> <p>・おうち支援、おしゃべり相談会、教材づくりなどを実施し保護者の対応力の向上に努めています。</p> <p>・家族参観日を設け、父、きょうだい、祖父母など、日頃園に来ることが難しいご家族に來園していただく機会を設けています。</p> <p>・その他、様々な取り組みをとおして、お子さんの特性理解や学び方、関わり方へと繋がるよう家族支援を実施しています。</p>	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	25	0	<p>・主に契約時に丁寧な説明を心掛けています。</p> <p>・契約時だけでなく、特に加算についての説明などは実態に応じて家族会で都度説明し、より明確に保護者に伝わるよう心掛けています。</p>	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	25	0	<p>・アンケートを事前に記入していただき、面談を実施することでご家族の意向を確認しています。</p> <p>・こどもの意向や強みについては、日頃の行動観察やご家族からの情報提供、発達検査などから確認しています。</p> <p>・こどもの将来の自立を考え、ひとりで行えることを増やすために、こどもの強みを生かし、スモールステップで取り組めるよう、児童発達支援計画を作成しています。</p>	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	25	0	<p>・保護者に、「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行う面談を年3回行い、同意を得ています。</p>	

38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談したいことがあるときには個々でいつでも面談を行えるようにしています。面談は担任だけでなく児童発達支援管理者や専門職とも行えることを保護者に周知しています。 ・新入園児のご家族は週1日、2年目以降のご家族は月2回、親子通園日を設け、必要な助言や支援を行っています。 ・連絡帳でのやり取り、自主登降園でお会いしたときなど定期的に助言や支援を行うように努めています。 ・必要に応じて看護師や理学療法士・作業療法士などの専門職に意見を聞き、助言や支援に生かしています。 ・個別相談、グループ相談(おしゃべり相談会)を実施しています。 ・個別相談では、タイミングよくご家族から発信していただけるように、相談記録表を作成し連絡帳に入れ、相談しやすい工夫をしています。 ・グループ相談(おしゃべり相談会)では、相談することで課題解決していく糸口が見つかる体験を重ねています。また、幅広く子育ての悩みの相談に対応できるよう、卒園児の保護者を「先輩お母さん」「先輩お父さん」としてゲストにお招きしています。 	
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会については役員が中心になり行っていますが、児童発達支援管理責任者が必要に応じてサポート(使用する部屋の確保など)ができるよう体制を整えています。 ・毎月1回、家族会を実施し園側からの情報提供やご家族からのご意見を伺う場としています。 ・家族会やグループ相談(おしゃべり相談会)の場面で保護者同士が交流する機会を設けています。また卒園児の保護者(先輩お母さんやお父さん)をゲストにお招きし、広い視野で子育てができるよう取り組んでいます。 ・きょうだいに参加できるイベントや参観日を設け、実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだいに参加できるイベントや参観日を設けることで、きょうだい同士が交流するきっかけになる場合もありますが、実施しているイベント自体は、きょうだい同士が交流できる計画にはなっていないのが現状です。今後、企画し、実施していくことが目標です。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談については、相談援助が適切なタイミングで行われるよう、通園のしおりで周知し、説明もしています。 ・こどもからの相談があった場合には、一番身近な担任が迅速に対応しています。 ・保護者もこどもも、担任、看護師、児童発達支援管理者、専門職が相談内容に応じ対応できる体制を整えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知していますが、こどもへの周知は行っていません。今後はこどもへの周知についても実施していこうと思います。
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月園だよりを発行しています。 ・概ね月に一回HPギャラリーで活動の様子を発信しています。 ・クラス活動については、クラス毎に月間支援実施計画を発行しています。 ・行事については年度初めに年間予定表を発行し、詳細については都度おたよりを配布し月1回の家族会で説明しています。 ・会報は法人で年3回発行し、HPに掲載、保護者が昼食をとる研修室(和室)に掲示、配布などしています。 	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・HPに掲載する情報(写真)について同意書をいただいています。 ・HPに掲載する写真や作品、外部で展示する作品など、個人が特定できないよう掲載の仕方を工夫し、保護者にも伝えていきます。 ・個人情報は鍵付きのキャビネットで保管しています。 	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに合ったコミュニケーション手段で意思疎通が図れるよう支援しています。 ・視覚支援など、必要に応じて配慮を行い支援をしています。 ・外国籍の保護者への情報伝達について、アプリなどの翻訳機能を活用しています。最近では保護者がスマートフォンを使用し、配布したお便りの写真を撮って翻訳する場面も多く見られるようになってきたため、あえてお便りにはルビを振らないよう配慮しています。 ・ルビ付きのお便りをご希望される保護者への対応も行うことができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の保護者への情報伝達については、翻訳機能を活用して行わせていただき、意思疎通についても、翻訳機能で対応していますが、課題も多いです。面談などは保護者が通訳の方を依頼し実施しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は5年ぶりに松風園まつりを実施することができました。地域の方々にも多数ご参加いただいております。今後も毎年、開催していく予定です。 ・クリスマスに地域の商業施設のご厚意によりサンタクロースが来園し子どもたちに直接プレゼントをお渡しくださいました。また、一部活動にも参加していただきました。 	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルを策定し、施設内に設置、掲示しています。また、一部通園のしおりなどに記載し保護者に周知しています。 	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画(BCP)を策定しています。 ・毎月、担任、子ども、親子通園日にあたった保護者と避難訓練を実施しています。保護者には消火訓練にも参加していただいています。 ・バス乗車中の災害や事故に備えた訓練を職員と運転士で実施しています。 ・ジャクエツメールにて緊急時の対応に備えています。 ・災害伝言ダイヤルや119番通報の練習を実施しています。 	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前のアセスメント及び入園後も継続して看護師が一人ひとりのこどもの状況について確認しています。 	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書を必ず提出していただき、園で保管しています。 ・医師の指示書に基づいて看護師、担任、栄養士、調理師が対応し適切な給食（代替食）を提供しています。 ・献立表は食物アレルギー対応のものを作成し、代替食についても詳しく掲載しています。それをもとに毎月保護者に材料をチェックしていただいています。 ・食物アレルギー用の給食は、配膳用のワゴンに乗せず、担任が給食室に取りに行き、調理担当職員から直接受け取るようにしています。 ・食物アレルギー用の給食は、トレイを色わけし、間違いがないよう明確にしています。 ・毎月、食物アレルギー会議を実施し献立や提供の仕方などについて確認、検討しています。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	23	1 未記入 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの安全を確保するための取り組み計画を立てています。 ・月に1回安全衛生委員会を実施し、安全管理に配慮して支援しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、課題や改善点を見つけ、こどもの安全を確保するための取り組み計画をより良いものにしていくことが目標です。
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	23	1 未記入 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会でご家族に周知しています。 		

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	23	1 未記入 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帰りの打ち合わせで報告しあい、再発防止策を職員間で共有したり、アドバイスをもらったりしています。 ・ 報告書を作成し原因や再発防止策を確認しています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	23	1 未記入 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人全体研修や事業所内研修を実施しています。 ・ 事業所内に虐待防止委員会が設置されており、研修を行っています。また、職員に不適切ケアの芽チェックリストを行っています。 ・ 保護者に職員がお子さんを呼ぶときの呼び方について書面で確認しています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	24	0 未記入 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体拘束適正化委員会が設置されています。 ・ 身体拘束を認める3要件(切迫性、非代替性、一時性)にあてはまるかを十分判断した上で事前にご家族に相談、確認し同意を得た上で実施することとしています。 ・ 身体拘束や行動制限するものと捉えられる事項については、適切な会議を必ず行い支援計画に記載し保護者に同意を得たうえで実施し、記録もしています。